

企 画 名: 沖縄・球美の里第 60 次母子保養

団 体 名: NPO 沖縄・球美の里

## 1. 報告要旨

沖縄・球美の里は、2012 年 7 月の開所以来、2017 年 4 月末現在で、3,149 名(子ども 2,508 名、保護者 641 名)の保養者を受け入れてきました。

第 60 回目となる保養は、未就学児を中心に、子ども 19 名、付き添いの保護者 11 名、計 30 名が参加しました。6 月 29 日から 7 月 7 日の 8 泊 9 日の予定でしたが、台風のため予定を 1 日早め、7 月 6 日に終了しました。

沖縄は梅雨明けで天気が比較的良好、体調を崩す子どももなく、子どもたちは外でたくさん遊んで過ごしました。豊かな自然の中で、放射能を気にすることなく、海に入ったり、裸足になり芝生の上や岩山で遊んだりすることができました。プログラムの中でも海に行きましたが、その他フリーデー(自由行動の日)に海へ行った参加者も多くいました。

球美の里の食事とおやつは、島の食材を中心に島のお母さんたちの手作りです。子どもたちやお母さんたちにおいしいと評判です。家では食べなかった野菜をよく食べるようになったという声もよく聞きます。

実施したプログラムの中で人気のひとつは、地元の三線グループ「なんくるさんしん」の球美の里でのライブです。保養のスタート時から欠かさずことなく行ってくれています。『球美ぬ里にめんそうれ』(球美の里によこそ)は、福島の子どものために作られたオリジナル曲です。

沖縄・球美の里における甲状腺検診は、2014 年度アクト・ビヨンド・トラストの助成を受け、35 回目の保養から続いています。

※2014 年度報告書 [http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt\\_2014report\\_kumi\\_01.pdf](http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_kumi_01.pdf)

第 60 次は保養 4 日目の 7 月 2 日に実施しました。島根大学の野宗先生が検診を担当。17 名の子どもと保護者 9 名が検診を受けました。検診結果は画像を含めて保護者に渡しています。

毎日の保養の様子を球美の里のブログで発信しました。

※ブログ <http://kuminosato.blog.fc2.com/?q=%E7%AC%AC60%E6%AC%A1%E4%BF%9D%E9%A4%8A>

## 2. 成果物

1. [ブログ「球美の里保養日記」](#)
2. [ホームページ「沖縄・球美の里」](#)
3. [球美の里フェイスブック](#)
4. [ニュースレター「球美の里だより」](#)
5. [パンフレット](#)
6. [『FM くめじま』で番組「Hello!球美の里」を放送](#) (毎月第 1・第 3 金曜日 12:30~13:00)
7. 「連載 東日本大震災と子ども」『児童養護』Vol.47, No.1 (2016/06/30)
8. 家庭科放射能研究会編『原発と放射線をとことん考える!いのちとくらしを守る 15 の授業レシピ』合同出版 (2016.8.15)
9. 「しみん発」(4 周年イベント「球美ぬ里にめんそうれ」展告知)『東京新聞』(2016/10/27)
10. 「[福島親子ら野菜収穫体験 沖縄・久米島、海洋深層水栽培研究所で](#)」『沖縄タイムス』(2016/11/27)

11. 「 <a href="#">こんなこと、やっています</a> 」(球美の里を紹介)『週刊金曜日』(2017/01/20)
12. 「 <a href="#">楽天・茂木らが福島の子どもたちと交流『頑張ればもっと笑顔になってもらえる』</a> 」『サンケイスポーツ』(2017/02/10)
13. 「 <a href="#">&lt;楽天&gt;福島の子とキャンプ地で交流</a> 」『河北新報』(2017/02/11)
14. 「 <a href="#">総特集 もっと、福島とつながる</a> 」『のんびる』2017年3月号
15. 「 <a href="#">チェルノブイリで成果のあった保養を福島の子どもたちにも</a> 」『わいわい』2017年3月号
16. 『 <a href="#">市民活動のひろば</a> 』2017年3月号
17. 「 <a href="#">福島に向かい祈り 久米島 震災犠牲者悼む</a> 」『沖縄タイムス』(2017/03/12)